



令和4年度

7月 三大幼だより

江東区立第三大島幼稚園

園長 貞方 敦子

令和 4年 6月 30日



三大幼 HP は
こちらから

保護者の方とともに

園長 貞方敦子

早いもので7月です。7月の終わりには、本園の父母の会が企画している「なつまつり」が行われる予定です。「こどもたちのために、豊かな体験をさせたい」という趣旨のもと、様々、アイデアが出てきています。と同時に、限られた時間の中で、負担なくできる内容でという考えや、この時期にするからこそ、保護者同士の親睦が深まるという目的ももって取り組んでいます。

「このコロナ禍で、この子たちは、縁日的なお祭りを経験していないんです。だからこそ、お祭りのな雰囲気味わわせてあげたいんです。」という保護者の声から、保護者同士の情報で、「太鼓ができる人がいるから、声を掛けてみようか」「担当の保護者の方たちがお揃いの法被を着て、こどもたちと関わったら、更にお祭りの雰囲気ができるのではないか」「今年は、地域のお祭りもするらしい。地域で踊っている盆踊りってなんだろう」などと、話が盛り上がっていきました。それぞれが思う、イメージややりたいことを出し合いながら、実現できそうなことを一緒に考えて進めています。そして、その保護者の方の思いを受け、保育の中でも活かせることを考える教員が第三大島幼稚園にはいます。近隣の第三大島小学校にもお願いし、和太鼓・法被も借りることができました！その法被は、今年度、年長児と5年生との交流の際、校庭で「ソーラン節」を披露してくれた時に着ていた憧れの法被なんです。(快く、貸して下さったこと感謝いたします。) このように、保護者の方と共に、考え合えるのは嬉しいことです。

先日、ある保護者の方が、「第三大島幼稚園は、毎年同じではないですよ。そこがいいと思います」ということをおっしゃってくださいました。教員は、目の前にいるこどもたちにとって必要と思われる体験は何か、そのためにはどんなことを準備し、どんな出会い方ができるだろうかなど考えています。目の前にいるこどもたちの生活を豊かにできるように保育をデザインしているのです。

さて、夏休み明けにも楽しみがあります。改修工事で保育室の床と窓が綺麗になるのです。そのため、夏季休業中に予定していたプール開放等ができないのですが、ピカピカの床を想像しつつ、楽しみてくださいね。こどもたちの心と体を育てていくために、今後も保護者の方とともに生活を進めていきたいと思っております。今年度は、思っているだけではなく、行動するという言葉を合言葉にし、少しでも、みんなで前に進んでいきたいと思っております。

今月の指導のポイント

年中りんご組

幼稚園で初めてのプール遊びが始まりました。着替えの仕方や安全に遊ぶための決まりが分かり、自分なりに取り組もうとする姿が見られます。また、少しずつ水にも慣れてきて、気持ちよさを味わっている姿も見られます。好きな遊びでも、色水やシャボン玉などの場を用意し、引き続き、水に触れる気持ちよさを味わえるようにしていきます。

学級のみんなで育てている夏野菜や花などの生長が見られます。こどもたちが生長を楽しみにしながら世話をする中で、変化に気付いたり、収穫して食べることに期待をもったりできるようにしていきます。

こどもたちにとって初めての夏休みも始まります。長い休みに入ることが分かり、自分たちの遊びや生活の場を掃除することで、きれいになった喜びや、夏休み後の生活に期待をもてるようにします。

年長にじ組

今年度もプール遊びが始まりました。昨年度の経験を思い出し、水遊びのきまりを守り遊ぶ姿が見られます。引き続き、水に触れる気持ちよさを味わい、自分なりのめあてに取り組めるようにしていきます。

遊びでは、ビー玉転がしや船作り、車作りなどを楽しむ様子が見られます。自分なりに工夫したり繰り返し試したりして遊ぶことが十分にできるように、こどもたちの思いや考えを支えていきます。

またじゃがいもパーティーでの活動を通して、収穫したいものを数えたり、どのような方法で行うか相談したりする機会にしたいと思っております。その中で自分たちばかりではなく、年中児や職員室にいる先生方のことも考えていけるようにします。

夏休み前には、保育室や砂場の遊具など、自分たちが使った遊びや生活の場を整理整頓し、きれいになる心地よさを感じながら、期待をもって夏休みを迎えられるようにしていきます。